

事業所における自己評価結果（公表）

公表：平成31年3月28日

事業所名 児童発達支援センター ガゼルの森

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2	職員の配置数は適切であるか	○		配慮が必要なお子さんにはクラス間で協力して対応している。	年度途中での担当者変更が極力ないようにする。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		コーナーとしてマットをひいたり、パーテーションをし分かりやすいように配慮している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		清潔を保ち、毎日清掃をしている。安心して遊べる空間になるようにしている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		定例のクラス会議の中で行っている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		30年度より実施。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		30年度より実施。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		評価結果をふまえ、サービスの質の向上に努めている。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		法人内及び外部研修の機会を積極的に活用している。	専門的知識・技術の向上のため、研修等を強化する。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		クラス担当職員間で話し合い、お子さんや保護者のニーズを把握した上で作成している。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		心理職員が発達検査を定期的に行い、支援に反映している。	今後も丁寧な保護者へのフィードバックを行う。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			家族支援、地域支援についてニーズに合った内容を十分吟味し、進めていく。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		定期的に見直しながら行っている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		関心、年齢、クラス等柔軟なグループングでの活動を行っている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		同じ領域の活動でも、週ごとに違う活動を行うようにしている。季節の活動を取り入れている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		子ども達の発達、活動内容に応じ、個別活動、集団活動を行い、支援計画を作成している。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		日々主となる職員を中心に行っている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		特に注意すべき点をその日に振り返っている。気づきがあった場合は職員間で情報共有している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録は徹底されているが、支援の改善にしっかり反映させていく。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		記録を定期的に見直し、支援計画と照らし合わせている。	
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				

関係機関や保護者との連携	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		定期的に連携している。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		必要な関係機関と連携している。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		看護師、管理者が行っている。 経管栄養などの医療ケアの必要なお子さんへの支援もやっている。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		子どもが関わる関係機関と子ども、保護者の対応、配慮すべき点など情報を伝えながら共有できるようにしている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		就学の際に子どものこと、保護者のこと、配慮すべき点など情報を共有している。	相談機関も必要に応じて参加を考慮する。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		近隣の児童発達支援センターや事業所と交流の機会を設けている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○		併設している保育所の子ども達と日々交流を行っている。	地域の幼稚園、保育所等の交流も増やすよう検討する。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		連絡帳や送迎時に報告し、必要に応じて共通理解を持てるようにしている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		どのような対応、関わり方をしたほうが良いか、問題点を一緒に見つめながら共に考えて問題解決できるようにしている。職員がペアレント・トレーニングの研修に参加し、学んでいる。	保護者のニーズもあり、研修会等の計画を検討する。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		入園説明会で丁寧に説明している。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		個別面談にて行っている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		必要に応じ随時、また保護者の希望による面談を実施している。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		保護者会の活動に参加したり、協働して行事等を行っている。	就労している保護者への配慮をしていく。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		相談や要望等の申し入れに迅速に対応できるよう努めている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月、クラス便りを作成し、活動の姿や今後の予定等を発信している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人情報が出さないように十分注意し、鍵のかかる場所で保管している。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		視覚的ツールを用いて伝えるよう工夫している。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		運動会などを実施している。 夏まつりには近隣の住民を招待し、共に行事を楽しむ。	

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		事業所内で訓練や研修を行っている。クラスにマニュアルを置き、確認している。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		毎月訓練を行っている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		入園時、進級時に保護者に記入していただき、対応している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		医師の指示書に基づいて提供している。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		終礼でヒヤリハットの有無を必ず確認している。	ヒヤリハットを教訓にし、事故の未然防止を強化していく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		職員研修の日を設定し、研修を行っている。	虐待防止の研修に積極的に参加していく。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○		支援計画には記載していないが、法人の規定で定義している。